

①学習課題（中学校2年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「枕草子」(P32～33)を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(2週継続)

<取り組み方>

- ① 「枕草子」(教科書の上段)を繰り返し音読してみよう。
 - ・10回程度音読し、すらすら読めるようにしてみよう。
 - ・すらすら読めるようになったら、一度、家の人に聞いてもらうのもよいかもしれません。
- ② 現代語訳を手がかりに、わからない言葉の意味を確認してみよう。
 - ・あけぼの…明け方、やうやう…だんだんと、あかりで…明るくなって など、どの言葉がどのような意味なのか確認してみよう。
- ③ 作者が挙げている四季それぞれの好きな時間帯とその理由の中から、共感できた(自分もそう思う)ことや、なるほどと思ったことなど、特に印象に残った点について、理由を添えて書き出してみよう。そして、それを家の人に伝えてみよう。
 - ・例) 春の明け方について、紫がかかった雲が細くたなびいているのは風情があるという点について、私も春に朝早く起きた時に、窓の外を見て、きれいだなと思うことがあるので、共感できた。また、「雲が細くたなびいている」というところに着目して表現した点がすごいと思った。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。

参考

※各教科書会社HPには、臨時休業中の学習に役立つ内容が掲載されており、札幌市公式HP「臨時休業中の学習課題」内の「[役立つリンク集](#)」で紹介しています。各教科の学習を進める際に、お役立てください。



【社会】

<内容>

イスラム勢力の拡大は、キリスト教中心のヨーロッパにどのような影響を与えたのか、調べたり考えたりしたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1)教科書 P86 の写真①や、教科書 P86～87 の本文から、イスラムの国々を経てヨーロッパに広まったものを探してみよう。
- (2)なぜヨーロッパの国々とイスラム勢力が交流することになったのか、「十字軍の遠征」に注目し、教科書 P86 本文をまとめてみよう。
- (3)教科書 P86～87 の本文から、ヨーロッパにおけるローマ教皇の力がおとろえたことによって起きた変化を、「十字軍」「ルネサンス」「宗教改革」の3つの言葉を使ってまとめてみよう。

<学習のヒント>

- (1)イスラム教が広がった地域や、キリスト教の聖地エルサレムを、教科書 p 86 の地図で確かめてみましょう。また、地図帳 P18 で現在のエルサレムの様子を写真で確認してみましょう。
 - (2)「ルネサンス」とよばれる新しい風潮とは何か、教科書 P87 の絵画資料を比較して考えてみましょう。
- 学習の中で登場した場所を、地図帳で確認してみましょう。

◆「平和へのメッセージ」を募集しています。

札幌市では、現在、平和への思いを込めたメッセージ（絵や詩）を募集しています。自分が考える平和について表現してみませんか。応募チラシや応募用紙が、下のホームページアドレスや右のQRコードから見ることができますので、興味をもったあなたは、ぜひ挑戦してみてください。

☞ <http://www.city.sapporo.jp/shimin/heiwa/koryu.html>



【数学】

<内容>

数の性質を、文字式を用いて説明しよう。(教科書 P28)

～偶数と奇数の和は、偶数と奇数のどちらになる？～

<取り組み方>

① (偶数)+(奇数)は偶数、奇数のどちらになるか予想してみよう。

② m 、 n を整数とすると、偶数と奇数はどのように表せますか。

③ ①で予想したことが正しいことを、文字式を使って説明しよう。

※「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。

④ これまで学んだことをふりかえり、次の㉗～㉙について文字を使って表してみよう。また、どうしてそのように表せるか、「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。(家の人に説明してもよいです。)

㉗ n を整数としたとき、連続する3つの整数

㉘ 十の位の数を a 、一の位の数を b としたとき、2桁の自然数

㉙ n を整数としたとき、3の倍数

<学習のヒント>

① $2+3$ や $10+15$ 、 $(-4)+(-7)$ など具体的な数で考えたとき、計算の結果が偶数と奇数のどちらになるか調べてみよう。

② 偶数は2でわりきれぬ数、つまり2の倍数なので、 $2 \times (\text{整数})$ と表せます。

奇数は2でわりきれぬ数、つまり2でわると1余る数なので、偶数に1を加えた数と考えることができます。

余裕のある人は、どうして m 、 n の2種類の文字を使う必要があるか、考えてみよう。

③ 教科書 P29 の2の拓海さんの考えを参考に説明してみよう。

④ 教科書 P26～P27 を読み、考えてみよう。

㉗ 連続するということは、次の数は前の数からいくつ増えるでしょうか。

㉘ 例えば、十の位の数が5のとき、この5はどんなことを表しているでしょうか。

㉙ ②で偶数をどのように表したかを参考にしてみよう。

今回の課題で、第1章 式の計算 は終わりです。

次回の課題は、第2章 連立方程式 の内容です。

【理科】

<内容>

◆動物は、生きていくために必要な栄養分をどのように体内へ取り入れるか考えよう。

<取り組み方>

- ① 栄養分にはどのような種類があり、それぞれどのような食物に含まれるのかを考えてみましょう。
(例) 炭水化物 ⇒ 米、パン、○○、…
- ② これらの食物や栄養分は体内のどのような場所を通り、体の中に取り入れられるか予想してみましょう。

<学習のヒント>

- ① 1学年の家庭科で学習した内容を思い出したり、教科書 P15 を参考にしたりしながら考えてみましょう。
- ② 教科書 P14 の「ふり返り」の図を参考にしながら、普段自分が食事をしている時と照らし合わせながら考えてみましょう。

【英語】

<内容>

◆教科書P12の下の英文は、リサが自分の体験を発表した時のものです。発表の内容を読んで、次のことに挑戦してみましょう。

（教科書P133～の巻末資料8で、単語や熟語の意味を調べることができます。）

<取り組み方>※①③の取組は、日本語でも英語でもよいです。

- ① リサの発表内容について分かったことをまとめて「取組シート」または「家にあるノート」に書きましょう。
- ② リサの体験を思い浮かべながら、本文を声に出して読んでみましょう。
- ③ 教科書P13の1の課題に取り組みましょう。
 - ・Wh-から始まる3つの質問を声に出して読んでみましょう。
 - ・次に、由紀と大介の絵を見ながら、それぞれ何をしていたか考えてみましょう。
 - ・最後に、由紀と大介の立場になって、3つの質問に口頭で答えてみましょう。

<学習のヒント>

- ①→リサの体験発表では、「日本とアメリカでの春の過ごし方」について述べています。リサは、何をなつかしく思っているのでしょうか。考えてみましょう。
 - ③→由紀と大介の絵の左にある英文を参考にして答えましょう。
- ★ Basic Dialog、New Words、本文の音声教材は、教科書会社のホームページで配信されているものが活用できます。
- ※札幌市教育委員会ホームページ>「臨時休業中の学習課題」>PDF<中学校教科書一覧>

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。